

地域おこし協力隊って何してるの？

今年の5月に奈良協力隊員を迎えて6人体制となった地域おこし協力隊ですが、その他の5人も各自がそれぞれの役割を果たしています。そんな協力隊の活動内容を皆さんにご報告します。

地域おこし協力隊とは？

都市部から本市のような地方に生活の拠点を移し、一定期間以上、農林漁業の応援、環境保全・監視活動、住民の生活支援などの各種の地域協力活動に従事できる意欲のある方を地域おこし協力隊員として委嘱し、地域への定住・定着を図る取り組みです。

～活動報告～

斉藤卓也(産業課所属)



千葉県より夫婦で移住して早くも2年が経ちますが、活動の中で多くの地域の方と交流することができましたので、地域内に知り合いが増え、都留市での生活を夫婦共々楽しんでおります。

現在は、道の駅つるの副支配人として直売所の運営に携わっており、直売所の品ぞろえ対策など、生産者の方々と共に直売所を盛り上げていく為に、日々精進と考えて活動しています。

これらの活動を通じて、都留市での生活基盤も確立できましたので、地域おこし協力隊の任期満了後も都留市に定住する予定です。任期満了後は、地域おこし協力隊という立場から、都留市の住民として都留市の農業と地域の発展に少しでも力になれるよう貢献していきたいと考えています。

今後も、道の駅つるを中心に様々な活動で地域を盛り上げていきたいと思えますので引き続き温かい目で見守っていただきながら、ご支援いただけましたようお願いいたします。



横井大樹(産業課所属)



横浜市から移住し、地域おこし協力隊としての活動が始まり2年が経過することとなりました。

協力隊に着任して以降、農作業を中心に活動を行ってきましたが、その中で第一に感じたことは、私を支えてくれる周囲の皆さんとの人間関係にとっても恵まれていたという事です。例えば畑で農作業をしている時に、近所で耕作している農家の方に話しかけられたり、差し入れをいただくことなど、移住前の都会では経験できないような、温かい人との触れ合いを肌で感じる事ができました。

また、昨年度には私の目標の一つであった農家民宿を開業させることができましたので、今後は多くの市外の方に都留市の魅力を味わっていただく機会を提供していきたいと考えています。

今年度は、地域おこし協力隊の任期の最後の年となりますが、任期後の都留市での生活基盤の確立を進めながら、今まで支えてきてくれた方への感謝の気持ちを込めて、精一杯活動していきます。未だ至らぬ部分もあるかと思いますが、皆様のご指導を引き続きお願いします。



山中敏枝(企画課所属)



都留市が進めている『生涯活躍のまち・つる』構想における『移住促進』と『市民の移住者受け入れ体制の構築』を主に担当しています。

『お試し居住』の受け入れや、月に一度の市民・移住者・移住検討中の方々との交流の場『エコハウス・サロン』を開催しており、参加者から好評を博しています。

昨年度は約600名の方が都留市に興味を持ち登録していただきました。活動を通じて8名の方が移住してこられています。

来年度完成予定の旧雇用促進住宅下谷宿舎を活用した『サービスピッキ高年齢者向け住宅』には、市内外から約80名の受け入れを予定しており、都留市の活性化につながると確信しています。

『エコハウス・サロン』はどなたでも参加できる交流の場です。どうぞ、お気軽にご参加ください。



島田縣一(企画課所属)



昨年7月より地域おこし協力隊として活動して、早1年が経過しました。

この間『生涯活躍のまち・つる』構想の認知と移住定住の促進のため、

『つる知るツアー』の企画実施、都内近郊での『移住イベント』への参加出展など、移住希望者とのコミュニケーションとニーズを掘り出す活動が続きました。しかし、これだけの活動では、都留市の魅力は伝わらないと考え、都留市が『誇れる』、『訪れたい』『コンテント』を指し、市内に現存する古民家にスポットを当て、その再生事業と、そこを拠点とした観光ルートの開発による国内及び訪日外国人の集客プラン、ビジネス、海外交換留学生などの研究宿泊施設などの構想を模索しているところがあります。

都留市には素晴らしい魅力がたくさん残されていると感じていますので、次のステップに歩み出したいと思えます。



星公一朗(企画課所属)



昨年8月より東京都から移住し、地域おこし協力隊として主に移住・定住に関する相談員として活動しています。

具体的には、移住・定住イベントで移住を検討されている方のお話を伺ったり、都留市の案内や都留市で実施している『お試し居住』の対応、『つる知るツアー』の実施などを行っています。

また、市内で行われる移住イベントや子育て世帯へのイベント、都留の景色、田畑での作業、学生との交流、都留での生活の様子などのPRポイントを市内外の方に知ってもらおうべく、SNSを使った情報発信をしています。

『移住・定住に関する仕事』と並行して、地域おこし協力隊の最終目的でもある、任期終了後の市内での起業・就業を目指しての活動もしており、都留の特産品である『曾雌にんにく』の生産組合のお手伝いや、農業と障がい者の『農福連携』などを研究したりしています。悪戦苦闘の毎日ですが、今後も日々の活動に取り組みでいきます。

